

東京港大井CT

GW、ゲートオープン

10連休中
3日間 滞留貨物を搬出へ

4月27日～5月6日のゴールデンウィーク(GW)10連休中、東京港のコンテナターミナル(CT)に貨物が滞留する懸念が高まる中、大井埠頭では4月28日と5月2日、そして5月6日に臨時のゲートオープンを実施する方針で調整している。10日間も貨物引き取りが止まるとヤードの蔵置コンテナがいつぱいとなり、ターミナル機能がまひする懸念が高いためだ。6日には大井埠頭に関係するバンブル(空パンの蔵置場)も稼働する予定だ。

今回のゲートオープンは、特定日に臨時のゲートをオープンすることで滞留貨物を搬出するのが狙い。

東京港には現在、船社などが借り受ける専用コンテナターミナル(CT)と、港湾運送事業者が共同運営する公共CTの2種類がある。コンテナ埠頭別で見ると、大井埠頭(全7バース)は全て専用となる。

大井埠頭のゲートオープンは、4月30日と5月2日は7バース全てで実施するが、対応するのは搬出のみとなる。

ターミナルごとのゲートオープン時間は、1・2号が午前・午後、3・4号は午前、5号は未定(調整中)、6・7号は午前とみられる。

1・2号と3・4号のゲートオープンは事前予約制となる。各ターミナルとも貨物量に応じて柔軟

に対応するとしている。5月6日のゲートオープンでは、搬出だけでなく搬入も含めて対応する。

10連休後となる7日は貨物引き取りや搬出のトラックが殺到して混乱が予想されるため、混雑緩和

和のためのゲートオープンとなる。

大井埠頭では10連休中の本船荷役は行方方向だが、寄港するオーションネットワークエクスプレス(ONE)では期間中の一部サービス欠便も検討しており、それに応じ

た対応となる。

東京港はコンテナ取扱量400万TEU超と国内トップだが、航路と貨物集中によるCTゲート周辺の車両混雑が年々悪化している。各CTのゲート前には曜日・時間帯により車両が長時間の待

機を余儀なくされているのが実情。

また、貨物集中でヤード内の蔵置能力が満杯となり、年末年始には東京港に寄港予定の本船が荷役できず、やむを得ず横浜港に荷揚げするなどの事例も発生している。